

事業所における児童発達支援自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 1日

事業所名 ハピネス浜野

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		
	②	職員の配置数は適切である	6		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		※未記入1
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	※未記入1
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		○コア・アソシエイトについて、家族支援についての勉強会が行われた。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		
	⑫	児童発達支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移動支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		※未記入1 ○話し合えるように心掛けているができない時もある。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	※未記入1 ○レパトリーが少なく職員間で相談し工夫している
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1	○集団活動が難しく、個別活動が多くなってしまうことがある。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		○子どもの体調、体の状態に合わせて活動が行えるよう話し合うが、役割分担について話し合うことができないこともある。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		※未記入1 ○できるだけ、振り返りを行い、次の活動へ繋がるように心掛けている。全員が共有できないことも
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1	
	㉕	移動支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		※未記入1
	㉖	移動支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		※未記入2 ○コロナ禍につき、現在は見合わせている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	3	○コロナ禍につき、現在は見合わせている。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4	※未記入2 ○コロナ禍につき、現在は見合わせている。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		○共通理解ができているかは分からないが、日頃(活動の様子・体調の変化等)伝えている。
保護者への説明責任等	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2	○家族支援の研修を行った。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	※未記入1 ○父母の会、保護者会等がない。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		○ハピネス通信の発行。
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意している	6		
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	○コロナ禍につき、現在は見合わせている。 ○コロナ禍以前は地域に開かれたイベント等もあった。
非常時等の対応	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6		
	㊹	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		
	㊺	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		
	㊻	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		
	㊼	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画書に記載している	7		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における放課後等デイサービス自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 1日

事業所名 ハピネス浜野

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫してる点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
	②	職員の配置数は適切であるか	6			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			※未記入1
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	6			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等公開しているか	5	1		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			○勉強会を実施している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			○目標・課題・問題点を意識することができるようになってきた。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		○話し合って決めることもあるが、できない時もある。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	1	○遊びのレパートリーが少なく、固定されてしまうこともある。 ○さらに発展できるようにしていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1		※未記入1 ○課題について話し合うことはあるが、支援に組み込めてない時もある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		1	○個別と集団の組み合わせまでできていない。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	3		○役割が曖昧になってしまうことがある為、打ち合わせの必要を感じる。 ○声掛けを行うように意識している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		○その日の活動の反省を次の活動に繋げられるように共有している。
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			○記録をしっかりと残すことを意識して行い、自らの振り返りも忘れないように心掛けている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	1	1	※未記入1
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5			※未記入1
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			※未記入1
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供等しているか	6			
	㉓	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		※未記入1 ○行われていると思うが、まだ受けたことはない。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	※未記入1 ○コロナ禍の為、行われていない
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		2	3	※未記入1
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		○降所時、できるだけ子どもの様子が伝わるように話している。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	1	※未記入1 ○家族支援の研修を行った。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		1	※未記入1 ○自分ではまだできていません。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		1	○自身では行うことができないが、相談しながら伝えている。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1		4	※未記入1 ○父母の会、保護者会等がない
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			
	㉝	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	5	○コロナ禍の為、開かれていない。
非常時等の対応	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	6			
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			※未記入1
	㊵	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			※未記入1
	㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事務所内で共有しているか	6			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。